

日本フードシステム学会 2016 年度秋季研究会

○テーマ：漁業の 6 次産業化と連携の経済性

○日 時：2016 年 12 月 3 日（土）：13:00～17:50

○会 場：東京大学農学部 1 号館 8 番講義室（東京メトロ南北線・東大前駅 徒歩 1 分）

○主 催：日本フードシステム学会

○趣 旨：

6 次産業化・地産地消法が施行されて 5 年が経過している。その実績をみると、平成 28 年 9 月 9 日現在における総合事業化計画の総認定件数は 2173 件に達し順調に進んでいるようにみえるが、水産部門の認定件数は全体のわずか 7.5%（163 件）にすぎず停滞している。その原因として、すでに 6 次産業的な性格をもつ水産業という外延的産業が存在していることや漁協共販システムとの齟齬などが挙げられる。本研究会では、このような制約条件を克服し、いわゆる「双益関係」（ウィン・ウィン関係）をもたらす連携のあり方に焦点を当て、連携の経済性を追求しうる漁業の 6 次産業化ビジネスモデルを探る。

○報告構成：

モデレーター：中原 尚（東京海洋大学大学院）

報告 1：「漁業の 6 次産業化と連携の諸問題」 婁 小波（東京海洋大学大学院）

報告 2：「漁業の 6 次産業化と企業連携」 石原 修（コープおきなわ）

報告 3：「漁業の 6 次産業化と域内連携」 宮田 勉（水産総合研究センター）

報告 4：「漁業の 6 次産業化と行政の役割」 大江和彦（島根県海士町地産地消課）

報告 5：「漁業の 6 次産業化とビジネスモデル」 日高 健（近畿大学産業理工学部）

○参加費：参加費 会員・学生 無料、非会員 1,000 円

○本件問い合わせ先：

日本フードシステム学会事務局

日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科内

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

TEL 0466-84-3402 / FAX 0466-84-3429

E-mail: office_fsraj@ml.affrc.go.jp